

ミニ電動ポイント N-PR140-30 (F)・N-PL140-30 (F) 共通説明書

Mini Electric Points PR140-30(F)
Mini Electric Points PL140-30(F)

このたびはトミックス製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用になる前にこの取り扱い説明書をよくお読みのうえ、取り扱いには十分注意してお楽しみください。



NECST-neo (ネクスト・ネオ) は、音、光、動きなど、プレイバリューの拡大と充実を目指した従来のネクストシリーズを進化させ、簡単確実な結線、操作性、機能性などがさらに向上した、レール、制御機器グループです。これらの製品には、このマークが付いています。

⚠ 注意 (かならずお読みください)

- 商品特性上、この商品は15歳未満のお子様には適しません。15歳未満のお子様の場合は、保護者のもとでお遊びください。
- この商品には小さな部品が使われており、誤って飲み込むと思われる事故の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- コードを首にかけてぶざけたり、乱暴に遊ばないでください。窒息の危険があります。
- レールの先端などは機能上尖った部分があります。誤ってケガなどのないよう、取り扱いには注意してください。

- この製品を分解したり改造しないでください。思わぬ事故の危険があります。
- この製品を指定以外の制御機器と接続しないでください。思わぬ事故の危険があります。
- レール間をショートさせないでください。パワーユニットなどが発熱する恐れがあります。
- 脱線した場合、モーター・パワーユニットなどが発熱する恐れがありますので、ただちに電源を切ってから復旧させてください。また、運転を行わないときには、必ずコンセントからパワーユニットのプラグまたはACアダプターを抜いておいてください。
- 加工組み立ての際に出たクズは、すぐに捨ててください。

この説明書と台紙は、必ず保管しておいてください。

■セット内容と各部の名称

●セット内容

ポイントレール本体(ダミーポイントモーター台付)・・・1本
カーブレールC140-30(F)・・・・・・・・・・・・・・1本
ランナーパーツ(ダミーポイントモーターL・R)・・・・・・1ランナー

●ポイントN各部の名称

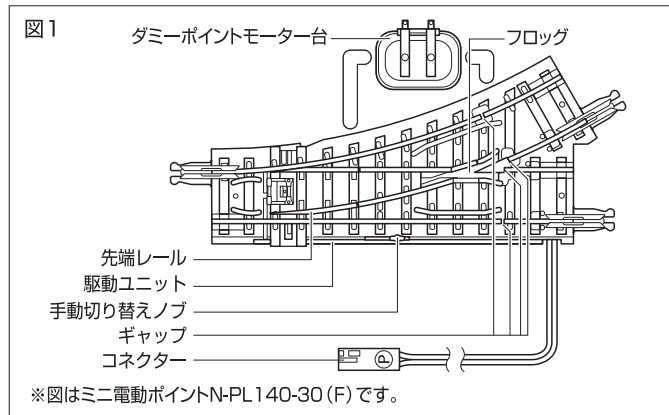


図2

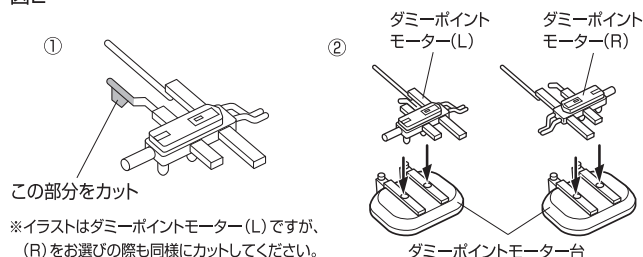
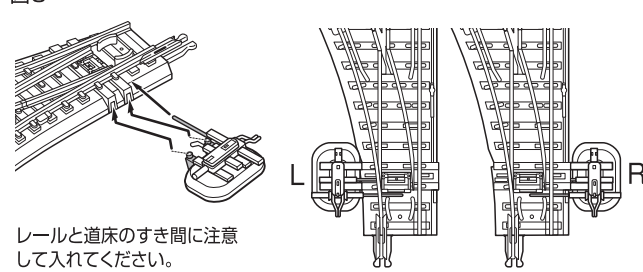


図3



■模型取り扱い上のお願い

●使用上のご注意

1. 先端レールを直接指などで動かしたり、無理な力を加えたりしないでください。変形して機能が損なわれるおそれがあります。
2. 直射日光に当たると、変色の原因となりますので、ご注意ください。また、湿気やホコリの多い場所、暖房器具の近くなど温度の高くなる所でご使用や保管は、模型に悪い影響を与えますのでおやめください。
3. 注油しないでください。また、ボンドや水分やゴミ、チリなどがポイントにはいらないようご注意ください。作動不良や通電不良の原因となります。
4. 無理な力を加えて曲げたり、落としたり、上に重いものをのせないでください。故障の原因となります。
5. ポイントNの駆動には永久磁石を使用していますので、磁性体の近くでご使用はお避けください。動作が不安定になる場合があります。
6. 金属製の台など電導体の上でご使用になる場合は、ポイントレール裏側にある3つのネジのうち中央のものを絶縁のためテープを貼ってください。
7. 駆動ユニットは必要時以外、むやみに着脱しないでください。故障の原因となります。
8. 固定レイアウトでご使用の場合は、駆動ユニット付近にバラストやストラクチャーなどを配置する場合は、駆動ユニットが交換できるよう、取りはずしを考慮のうえで配置してください。
9. 塗装する場合：駆動ユニット及びポイント作動箇所塗料がかからないように注意してください。動きがにぶくなるおそれがあります。また、先端レールは切り替わる側のレールとの接触により通電しますので、接触する部分に塗料をかけないよう注意してください。

■ダミーポイントモーターの組み立てと取り付け

ダミーポイントモーターには、取り付け方向により、(L)と(R)の2タイプがあります。レイアウトにより、どちらか一方のタイプをお選び下さい。なお、刃物などの工具を使用する際は、ケガなどないように十分にご注意ください。

※ダミーポイントモーターを取り付けなくても、機能に問題はありません。

1. 本体から、ダミーポイントモーターをニッパーなどできれいにカットします。
2. ランナーから、お好みのパーツをニッパーなどできれいにカットします。
3. 直線側に付ける場合は、図2を参照して、ダミーポイントモーターの一部をカットします。カーブ側に付ける場合は、カット不要です。

●ポイントモーターとは……

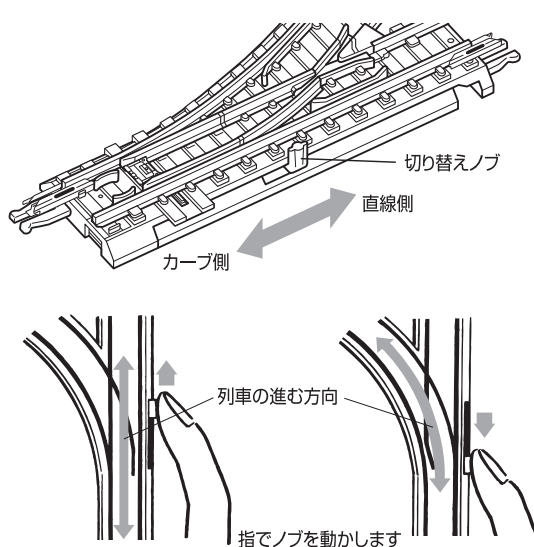
実物は、ポイントレールを切り替えるための装置です。模型ではダミーですので、取り付けなくても機能的に問題はありません。よりリアルな形状をお楽しみいただく際にお取り付けください。

■ポイントの切り替え

●手動で切り替える場合

図4のように切り替えノブを指でスライドすることにより、手動でポイントを切り替えることができます。

図4

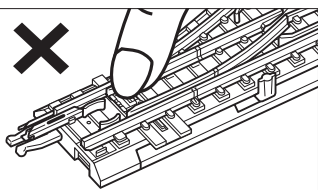




ご注意

ポイントレールの先端レールは持ち
たり、さわったりしないでください。

図5

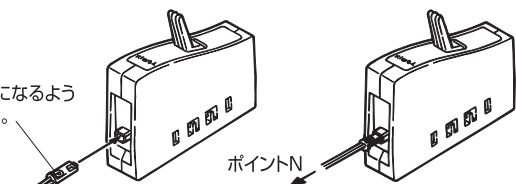


●電動で切り替える場合(配線)

パワーユニットNの電源スイッチがOFFになっているのを確かめ、ポイントから出ている
コードの先のコネクタをポイントコントロールボックスNのコネクタに差し込みます。
なお、ポイントコントロールボックスNからコードを抜くときは、必ずコネクタ部を持って
抜いてください。コードを持って抜くと断線のおそれがあります。

図6

Ⓔマークが上になるよう
にして差しします。



※コネクタは入れる方向が決まっています。向きを確かめて正しく差し込んでください。

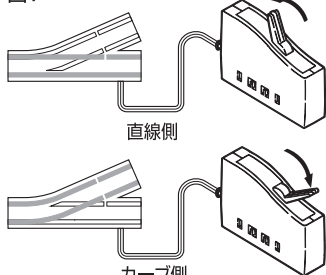
●ポイントコントロール ボックスを操作する

ポイントの配線が終わったら、必ずリセット
操作をしてください。リセット操作をし
ないと、ポイントとポイントコントロール
ボックスNの切り替え方向が一致しない
場合があります。

リセット操作

- 1.正しく配線されているのを確認し、パワー
ユニットNの電源をONにします。
- 2.切り替えは必ず1秒以上の間隔をあけ、
ポイントコントロールボックスNのレバー
を操作して2回(1往復)切り替えます。
(1回目の切り替えのときは、ポイント
が切り替わらない場合がありますが、異常ではありません。)
- 3.ポイントが正しく切り替わっていることを確認します。ポイントコントロールボックスN
のレバーを手前に倒したときがカーブ側、奥になっている場合が直線側です。(図7)
※配線した状態でポイントを手動で切り替えても壊れることはありませんが、コントロールボックスNの
切り替え方向と一致しない場合があります。その場合は再度、リセット操作を行ってください。

図7

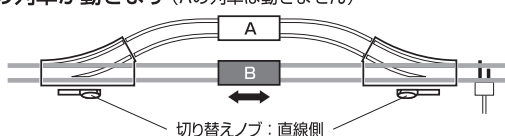


※ポイントの切り替えは1秒以上の間隔をあ
けてください。

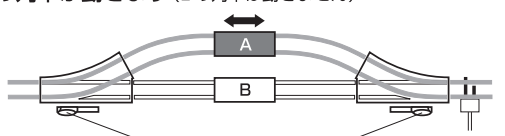
ポイントの切り替えと列車の動き

図8

Bの列車が動きます(Aの列車は動きません)



Aの列車が動きます(Bの列車は動きません)

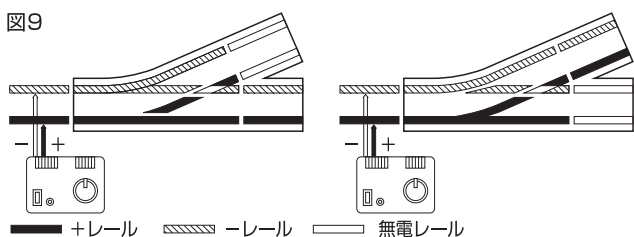


■ 電気が流れているレール □ 電気が流れていないレール

電氣的構造(通電状態)について

本製品は、電氣的構造に「完全選択式」を採用しています。ポイント中央部にはギャップが
設けてあり、図9のように、先端レールが切り替わった先のレールへ電気を流し、切り替わっ
ていない先のレールには、電気を流さない構造になっています。

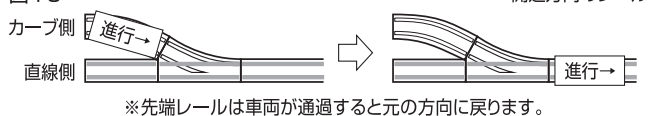
図9



スプリングポイント機能について

ポイントが直線側に開通している場合、車両がカーブ側から進入すると、車輪でポイントの
先端レール(トングレール)を押して通過することができます。
※カーブ側が開通方向の場合も、同様に直線側より進入できます。
注意：開通方向でない方から進入した場合、必ず編成のすべてを通過させてください。
途中で進行方向を換えると、脱線し、破損や思わぬ事故の恐れがあります。

図10



ポイントN駆動ユニットの交換方法

駆動ユニットを交換する場合は、別売の〈0107〉ポイントN用駆動ユニット(F)をお求め
になり図11を参照して交換してください。ポイントが固定されていない場合は、駆動ユニッ
ト裏面の溝にツメを引っかけて駆動ユニットを取り出します。レイアウトに固定されている
場合、コードを引っ張って駆動ユニットを取りはずします。

注意：切り替えノブは絶対に引っ張らないでください。切り替えノブを引っ張っても駆動
ユニットははずれません。交換時には、ポイント駆動ユニットNのコイル部及びコイ
ル線を傷つけないようにご注意ください。

図11

●取り出し方

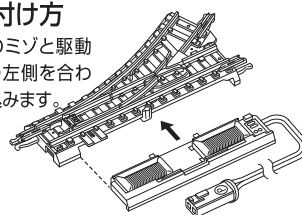
- 1.右図のようにコードを引っ張って駆動
ユニットを取りはずします。

注意：切り替えノブは絶対に引っ張らないでく
ださい。切り替えノブを引っ張っても駆
動ユニットははずれません。

- 2.駆動部のはしが出たら、ドライバーやツメ
などを引っかけて取りはずします。

●取り付け方

ポイントのミゾと駆動
ユニットの左側を合わ
せて差し込みます。



ダミーポイントモーター
を取り付けている場合、
駆動ユニットを取り出す
前に、ダミーポイントモ
ーターを取りはずしたう
で行ってください。

コネクタ逆差しの使い方【上級者向け】

電動ポイントNのコネクタは、簡単
な加工により逆差し(逆極性)でも使
える構造となっています。逆差しを行
なうと図7において、ポイントコントロ
ールボックスNのレバーの位置とポイ
ントNの切り替わり方向が逆になります。
図12-2のように、2つのポイントに向
かい合わせて開通させる場合などに
逆差しが必要となります。

注意：逆差し防止リブは配線を簡単にし、誤
配線を防ぐために付けられています。
リブをカットした場合には、挿入の向
きに十分注意してご使用ください。ま
た誤配線を防ぐため、必要な場合
以外には絶対にカットしないでください。

図12-1

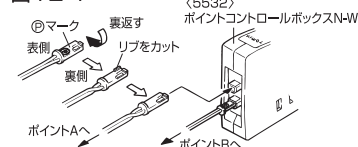
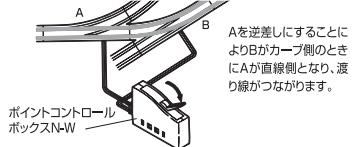


図12-2



逆差しが必要な場合に、加工せずに極性を反転させることのできる便利な、クロスコードもございます。
〈5817〉クロスコード(電動ポイントN用)

●消費電流

電動ポイントNの消費電流=150mA

※消費電流の合計計算をする場合、電動ポイントNは個数に関係なく150mAとなります。

※イラストなどは製品と一部異なる場合があります。

修理が必要な場合、あるいは故障箇所が不明なときは、お買い上げ店にご相談ください。

また、トミーテックへお問い合わせの場合は、

トミーテックお客様相談室 トミックス係

TEL : 03-3695-3161(代) までご連絡ください。

電話受付 月～金曜日(祝・休日除く) 10～17時

本製品のお客サポートは日本国内でのご購入かつ日本国内からのお問い合わせに限りです。
(Customer service is only available in case this product purchased in Japan and inquired from Japan domestic.)

TOMYTEC 発売元
株式会社トミーテック

〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10

2025/10 更新版